

令和7年度

手稲高校男子バドミントン部

2年越しの挑戦！！

育成の手稲 新人戦全道大会悲願のベスト8！！

皆さんは、「手稲高校は部活動をやっていない高校。」というイメージを持っていませんか？

あるいは、「勉強ばかりやっていて、部活動には後ろ向きの学校。」とか思っていないですか？

そんなことはないですよ。ちゃんとやっていますよ。ていうか熱くやっていますよ。

手稲高校の部活動の中でもバドミントン部は、かなりホットな方ですけどね。

手稲高校のバドミントン部は、2年前に新人戦で全道大会に出場して以来、毎回全道大会に出場してもおかしなくらいのレベルのチームなのですが、そこは激戦区の札幌地区。なかなか全道大会への切符を手にすることができずにいました。

全道でも札幌市内でも手稲高校バドミントン部は無名のチーム。中学校時代に全道大会や全市大会で活躍した選手が入部することは、ほとんどないチームです。スター選手がいないからこそ、チーム一丸となって練習に取り組んできました。チームが強くなるためには、選手一人一人が強くなるが大前提と言うことを認識して全員がレギュラーに入ることを目標に切磋琢磨してきました。

また、中学校時代に身につけていなかった基本的な技術。バドミントンに必要な基礎体力。そしてお座なりにしてきた基本戦術の理解と習得。これらをひとつひとつ克服して、激戦区の札幌地区を接戦の末勝ち抜き、目標だった全道大会に出場することができました。

全道大会は、ただ出場するだけでなくベスト8まで勝ち上がることを目標に臨みました。案の定一進一退の接戦になりましたが2回戦を勝ち上がり、ベスト4決めの準々決勝では札幌地区4位の静修高校と対戦しました。応援にきてくれた両親達が「いい試合だったよ。」と褒めてくれるほど、良いラリーができました。

この全道大会の結果で満足することなく、次の大会に向けてチームメイトと一緒に切磋琢磨していこうと思います。最近では、地元の中학생やジュニアチームの選手が交流試合にきてくれるようになってきました。地元の人たちの期待に応えられるように、これからも頑張りたいと思います。興味のある人たちは是非、見学や交流試合に来てください。

2年間 HP を更新していなかったので、僕たちが入部した2年前から遡って団体戦を振り返ってみたいと思います。

令和6年度春季リーグ戦

令和6年度 春季 団体戦 西 ブロック 男子 2部

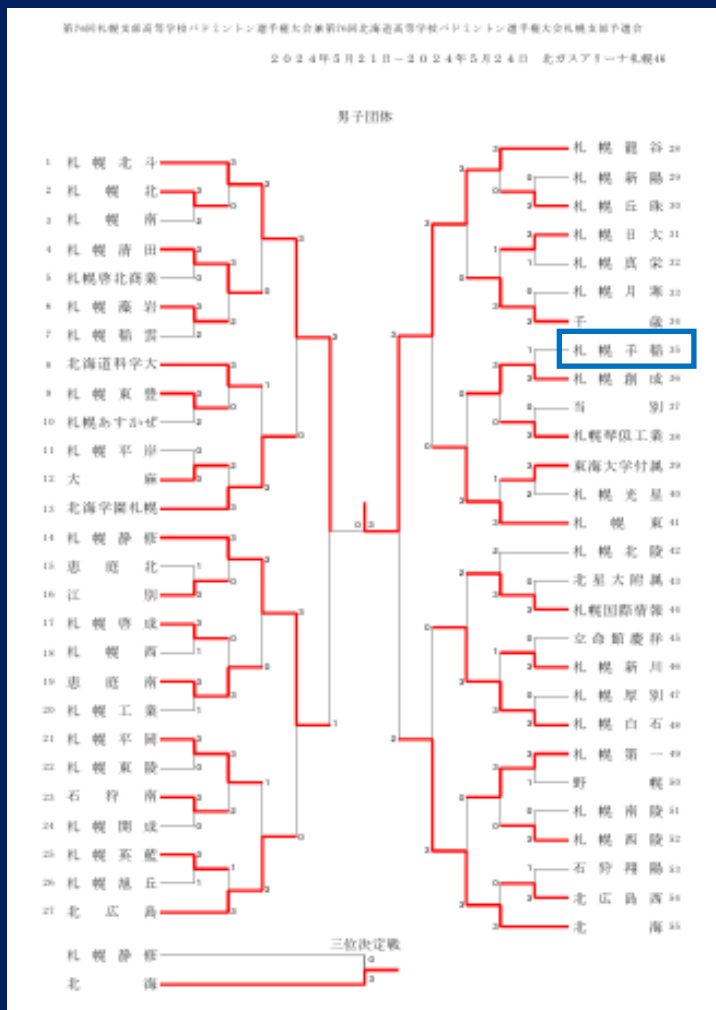
大会期日 令和6年4月29日 大会会場 札幌西高校 記載責任者 阿部 卓

	札幌西	札幌西陵	札幌北	石狩南	札幌手稲	西立札幌朝鮮	勝敗	順位
札幌西	○	○	○	○	×	×	4勝1敗	2位
札幌西陵	×	○	○	×	×	×	2勝3敗	4位
札幌北	×	×	○	×	×	×	0勝5敗	6位
石狩南	×	×	○	○	×	○	2勝3敗	5位
札幌手稲	×	○	○	○	○	○	4勝1敗	1位
西立札幌朝鮮	○	○	○	×	×	○	3勝2敗	3位

僕たちが入部したときの春季リーグ戦は西ブロックの2部を4勝1敗で1位になり、1部に昇格できました。入部したばかりなので試合の出番はありませんでしたが、活躍する先輩達が頼もしく見えました。



令和6年度高体連札幌支部予選



高体連もこの勢いで行けると思っていたのですが、初戦で創成高校に接戦の末、1-3で敗退してしまいました。そのときの3年生の落ち込んでいる姿は、今でも忘れられません。そのときから先輩達からのチームのミッションとして「全道大会出場」は今も引き継がれています。



※高体連打ち上げの写真です。毎年やっています。

令和6年度秋季リーグ戦

令和6年度 秋季 団体戦 西 ブロック 男子 1部

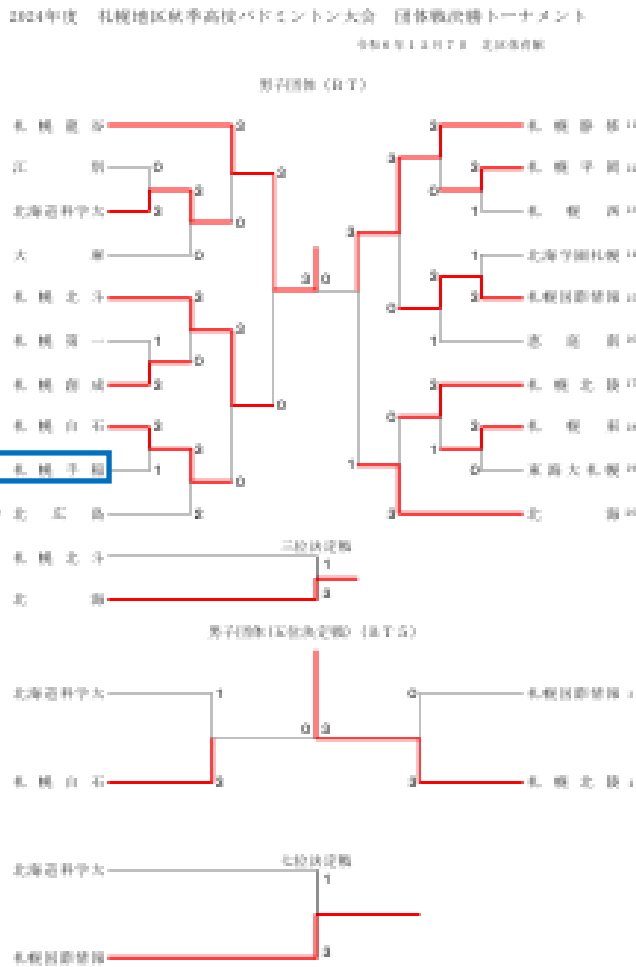
大会期日 令和6年11月10日 大会会場 札幌手稲高校 記載責任者 戸田昌宏

	札幌北斗	札幌龍谷	札幌神務	札幌北陵	札幌手稲	札幌西	勝敗	順位
札幌北斗	○	×	×	○	○	○	3勝2敗	3位
札幌龍谷	○	○	○	○	○	○	5勝0敗	1位
札幌神務	○	×	○	○	○	○	4勝1敗	2位
札幌北陵	×	×	×	○	○	○	2勝3敗	4位
札幌手稲	×	×	×	×	○	○	1勝4敗	5位
札幌西	×	×	×	×	×	○	0勝5敗	6位

1年目の秋のリーグ戦からは、僕たちの学年からもレギュラーとして団体戦に出場する様になりました。キャプテンが腰痛のためベストコンディションで戦えなかったこともあり、リーグ戦では5位となり2部降格となりシード権を獲得することができませんでした。



令和6年度秋季決勝トーナメント



決勝トーナメントはフリー抽選となり初戦で白石高校と対戦し1-3で敗退してしまいました。やはりシード権を持たないと初戦で強豪校と対戦しなければならないので勝ち上がるのが難しくなってしまいます。全道大会に出場する前に1部に残留してシード権を獲得することが直近の課題となりました。



※秋季大会打ち上げの写真です。
 ※女子や先生とも一緒に焼き肉食べに行きます。

令和7年度春季リーグ戦

令和7年度 春季 団体戦 西 ブロック 男子 2部

大会期日 令和7年5月5日

大会会場 札幌手稲高校

記載責任者 野嶋 大三

	札幌手稲	札幌西	札幌西陵	札幌英塾	札幌創成	石狩南	勝敗	順位
札幌手稲	○	×	○	○	○	○	4勝1敗	1位
札幌西	×	○	○	×	×	×	3勝2敗	3位
札幌西陵	×	×	○	×	×	○	1勝4敗	5位
札幌英塾	×	×	○	○	×	×	1勝4敗	6位
札幌創成	×	○	○	○	○	○	4勝1敗	2位
石狩南	×	○	×	○	×	×	2勝3敗	4位

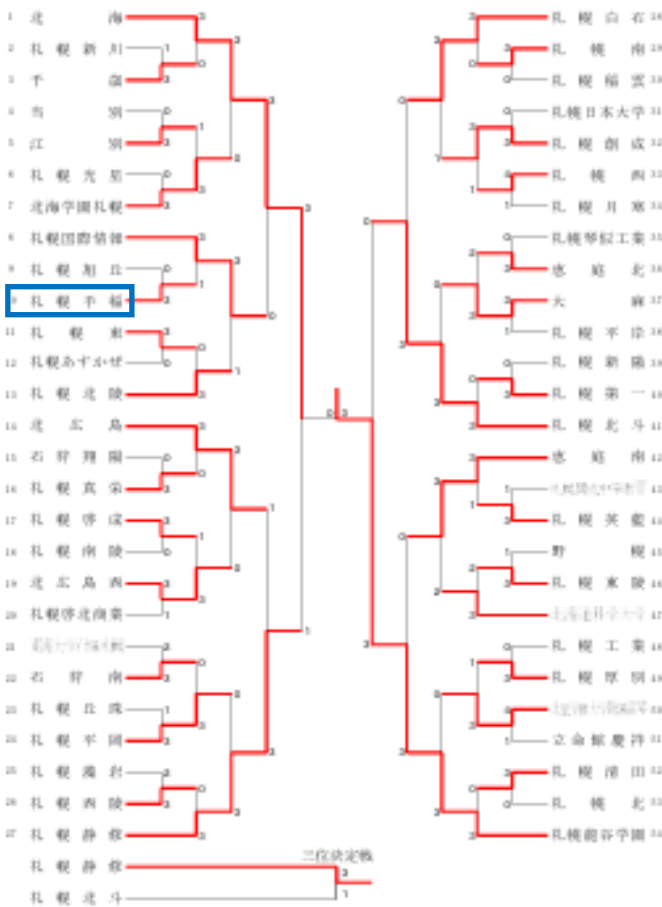
2年目の春のリーグ戦は4勝1敗で1位になり1部に昇格することができました。しかし、シード権を獲得するためには1部で4位以内に入らなければならないので、高体連もフリー抽選となりました。



令和7年度高体連札幌支部予選

第17回札幌支庁高等学校バレーボール選手権大会兼第17回北海道高等学校バレーボール選手権大会札幌支部予選
 令和7年5月27日～28日 北沢スポーツセンター

男子団体 (B1)



抽選の結果、国際情報高校と北陵高校に勝たなければベスト8に入ることができない厳しい山に入ってしまった。両校とも昨年の新人戦では全道大会に出場し、春のリーグ戦では1部で激戦を繰り広げていた強豪校でした。結果的に2回戦で国際情報高校に1-3で敗退し高体連は幕を閉じました。

やはりチームのミッションとして「全道大会出場」は、先輩達からしっかり引き継ぎ新チームで新しいスタートを切ることになりました。



令和7年度秋季リーグ戦

令和7年度 秋季 団体戦 西 ブロック 男子 1部

大会期日 令和7年11月3日

大会会場 札幌手稲高校

記載責任者 大島 健史

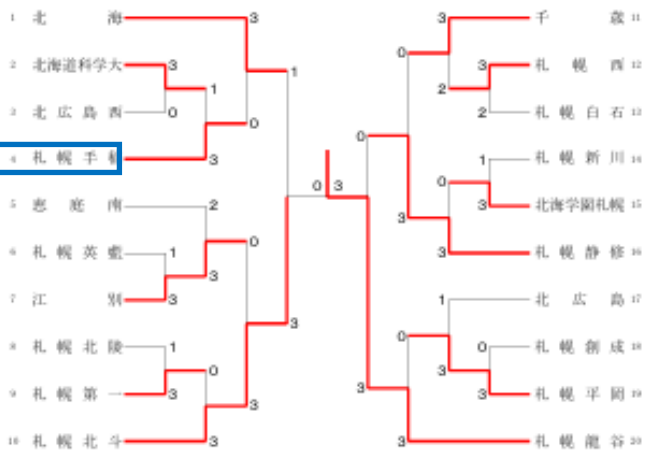
	札幌龍谷	札幌静修	札幌北斗	札幌北陵	札幌手稲	札幌創成	勝敗	順位
札幌龍谷	○	○	○	○	○	○	5勝0敗	1位
札幌静修	×	○	×	○	○	○	2勝3敗	3位
札幌北斗	×	○	○	○	○	○	4勝1敗	2位
札幌北陵	×	○	×	○	×	○	2勝3敗	5位
札幌手稲	×	×	×	○	○	○	2勝3敗	4位
札幌創成	×	×	×	×	×	○	0勝5敗	6位

秋のリーグ戦の目標は4位以内に入りシード権を獲得することでした。予定通り2勝3敗で4位に入り1部に残留し、決勝トーナメントのシード権を獲得することができました。私立の北斗高校や静修高校と対戦したとき、結果的に1-3で敗退したものの、公立高校が私立高校から1ポイントとるということはめったにないことなので大健闘のリーグ戦だったと思います。

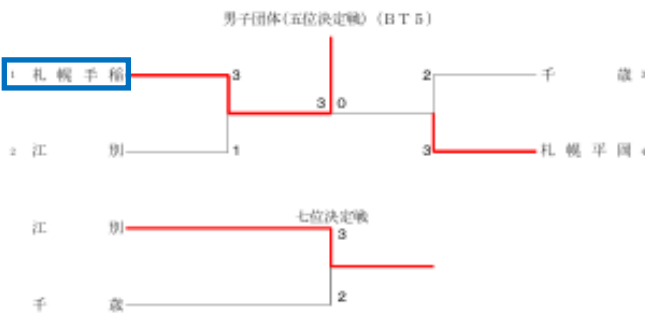


令和7年度秋季決勝トーナメント

2025年度 札幌地区秋季高校バドミントン大会 団体戦決勝トーナメント
男子団体 (BT) 令和7年12月6日 北区体育館

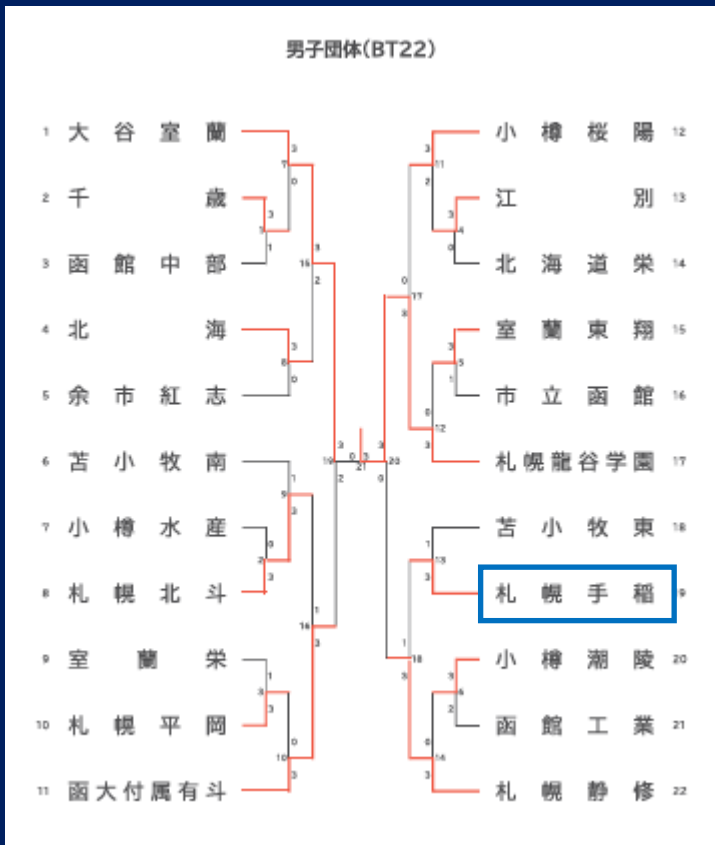


決勝トーナメントは第8シードの位置でした。2回戦で科学大と対戦し3-1で勝ち上がり、3回戦では北海と対戦し0-3で敗退し、順位決定戦の初戦では江別高校に3-1で競り勝ち、2試合目では平岡高校に3-0で勝つことができました。結果的に5位で全道大会に出場することができました。どの試合も楽な試合はなくファイナルゲームの連続でした。みんなメンタルが鍛えられました。



※秋季大会打ち上げの写真です。
※女子や先生とも一緒に焼き肉食べに行きます。

令和7年度新人戦北海道大会



また、朝早くからお弁当を用意してくれたり、吹雪の日に迎えに来てくれたり、大会の度に会場まで送迎してくれたり、練習や大会の時に差し入れてくれたり、自分の両親だけでなくチームメイトの保護者の方にも本当に感謝しています。これだけ多くの人達に支えられてもらっていることを忘れずに最後の高体連までベストを尽くして活動したいと思います。

そして迎えた全道大会。2回戦は苫小牧東高校。第1ダブルスは危なげなく2-0で勝ち。第2ダブルスは接戦の末1-2で敗退。第1シングルスは接戦の末2-0で勝ち。第2シングルスも接戦の末2-0で勝ち。結果的に3-1で3回戦に進むことができました。決勝トーナメントでメンタルを鍛えられたせいか接戦になっても落ち着いてプレーすることができました。

準々決勝は札幌地区4位の静修高校。第1ダブルスは大接戦の末0-2で敗退。第2ダブルスは大接戦の末2-1で勝ち。第1シングルスは接戦の末0-2で敗退。第2シングルスは実力通り0-2で敗退。結果的には1-3でリーグ戦の時と同じスコアで敗退でしたが、第1ダブルスと第1シングルスはリーグ戦の時には実力差がはっきり出た試合だったのが、全道大会ではほぼ互角の試合ができるようになっていたので、冬休みの練習の成果が出て、大きな自信になりました。

せっかくここまでできるようになってきたので、春季と高体連はさらにワンランク上を目指したいと思います。

自分たちがここまでバドミントンに打ち込めたのも、暑い日も寒い日も毎日練習に来てくれて的確なアドバイスをしてくれたり、切れたガットをその日の内に直してくれたり、他校と練習試合を組んでくれたり、大学生や社会人のOBの方を呼んできてくれたり、自分たちをサポートしてくれる4人の先生方のおかげだと思っています。本当に感謝しています。

バドミントン好きの中学生の皆さん、来年是非来てください!

卒業生の主な進路 (過去3年間)

- 北海道大学 小樽商業大 帯広畜産大学 北海道教育大学 千歳科学技術大学 電気通信大学
愛知教育大学 弘前大学 新潟大学 同志社大学 近畿大学 北海学園大学 北海道科学大学
北海道医療大学